



市民懇談会ニュース

-第4回 令和6年(2024年)10月5日(土)-



越谷市では、まちづくりの指針となる「第5次越谷市総合振興計画 後期基本計画」の策定を令和6年度からの2か年をかけて行います。

この計画に多くの市民の皆さんの想いや意見を反映させるため、様々な市民参加の取り組みを行っており、そのひとつとして全4回の“市民懇談会”を開催します。

開催スケジュール



7月28日(日) 13:00~16:00

■基調講演

市民参加のデザインによる共創型まちづくり
講師 高崎経済大学地域政策学部准教授
長野 博一 氏

□懇談会

- 多様な人が交流し、参加と協働により発展するまちづくり
- みんなが健康で共創して住み続けられるまちづくり



8月21日(水) 18:00~20:30

- 都市と自然が調和した集約と連携によるまちづくり
- 持続可能で災害に強い安全・安心なまちづくり



9月19日(木) 18:00~20:30

- 魅力ある資源を活かし、都市の活力を創造するまちづくり
- みんなが主体的に学び、生きがいを持って活躍できるまちづくり



10月5日(土) 13:30~16:00

- 越谷市のめざす姿を考えよう

越谷特別市民
「ガーヤちゃん」



懇談会プログラム

1 今後5年間の「重要な視点」を考えよう

2 5年後にめざす姿を描こう

3 具体的な取組を考えよう

4 グループ発表

第4回市民懇談会を開催しました！

第4回懇談会は、20人の市民の皆さんが参加し、5つのグループに分かれ、「今後5年間での重要な視点」と「5年後にめざす姿」について、熱い議論が交わされました。

懇談会では、参加者の皆さんが多様な視点から見た越谷について意見を交わし、未来の越谷に向けて多くのアイデアが生まれました。

第4回市民懇談会 参加者の声

✓ 越谷における今後5年間の「重要な視点」について、具体的にイメージできた

→何をするにも人と人との“コミュニケーション”が基本になると思った

→小さな“コミュニティ”をつなぎ、大きくなったらよいと思った

→10年、20年後を目指して“人づくり”が重要

✓ 描いた越谷のめざす姿について、将来も越谷に暮らし続けたい、関わりを持ち続けたい

→私たちは市民なので、聞く、見る、知る権利があり、考える権利も行動する権利もある

自分たちのまちを自分たちでつくりたいので、ぜひ立ち上がりたいと思う

→提言した内容がどのように活かされていくかを関心を持って見守りたい

→若いから頑張ってもらいたい、という言葉をいただき、責任感が芽生えた

まちづくりを進めていくにあたり、分野に関わらず念頭に置くべき視点(デジタル、環境、多文化共生など)について、グループ内で意見交換しました。

「重要な視点」をグループごとにまとめ、それらをキーワードに、5年後にめざす越谷の姿を描きました。

「重要な視点」を踏まえ、今後5年間で必要な具体的な取組みやアイデアを現在の市のまちづくりの取組みも参考としながらまとめました。

グループ①

1 今後5年間のまちづくりにおける「重要な視点」

< ディスカッションで出た視点と主な意見 >

デジタル

- ・ 地域の中で、デジタルに関する知識が豊富な人にいつでも聞ける環境があるとよい
- ・ 行政のデジタル化により、市民の利便性が向上するかが重要

地域コミュニティ

- ・ 地域コミュニティの強化が重要
- ・ 自助、共助、公助は重要だが、高齢者がメインのコミュニティでは自助、共助は難しい
- ・ 空き家を活用し、交流の場を作るなど、世代間の接点を増やす取り組みが必要

人（リーダー育成・協働）

- ・ 地域をけん引する人材の発掘や育成が大切
- ・ 若い世代のリーダーを育成することが地域の発展につながる
- ・ 協働で解決できる地域課題が多い

農業

- ・ 越谷ねぎの認知度をあげたい
- ・ 食料自給率が低い
- ・ 土地の有効活用により、世代を問わず農業を体験できる、共有できる機会があるとよい

情報発信

- ・ デジタルかアナログかに関わらず、わかりやすく情報発信することが大事
- ・ 様々な情報発信の媒体が存在しており、必要な情報を入手しづらい
- ・ デジタルが苦手な人にとっては、Web、SNS、メールの情報発信は、わかりづらい

< 今後5年間のまちづくりにおける「重要な視点」 >

情報とデジタル

地域コミュニティ

人
(リーダー育成・協働)



2 5年後にめざす越谷の姿

情報・デジタル

情報・デジタル格差のないまち

▶ 地域コミュニティの中で格差をなくせる

地域コミュニティ・
人(リーダー育成・協働)

市民が協働して幸せなまち

- ▶ 老若男女問わず、市民が意見を出せる
- ▶ コミュニティの繋がりが強化され、市への愛着が持てる
- ▶ 各地区に次世代リーダーが存在し、13地区発信で市が盛り上がる
- ▶ 子どもたちが「越谷市出身!」と誇りを持って言える

3 具体的な取組み・アイデア

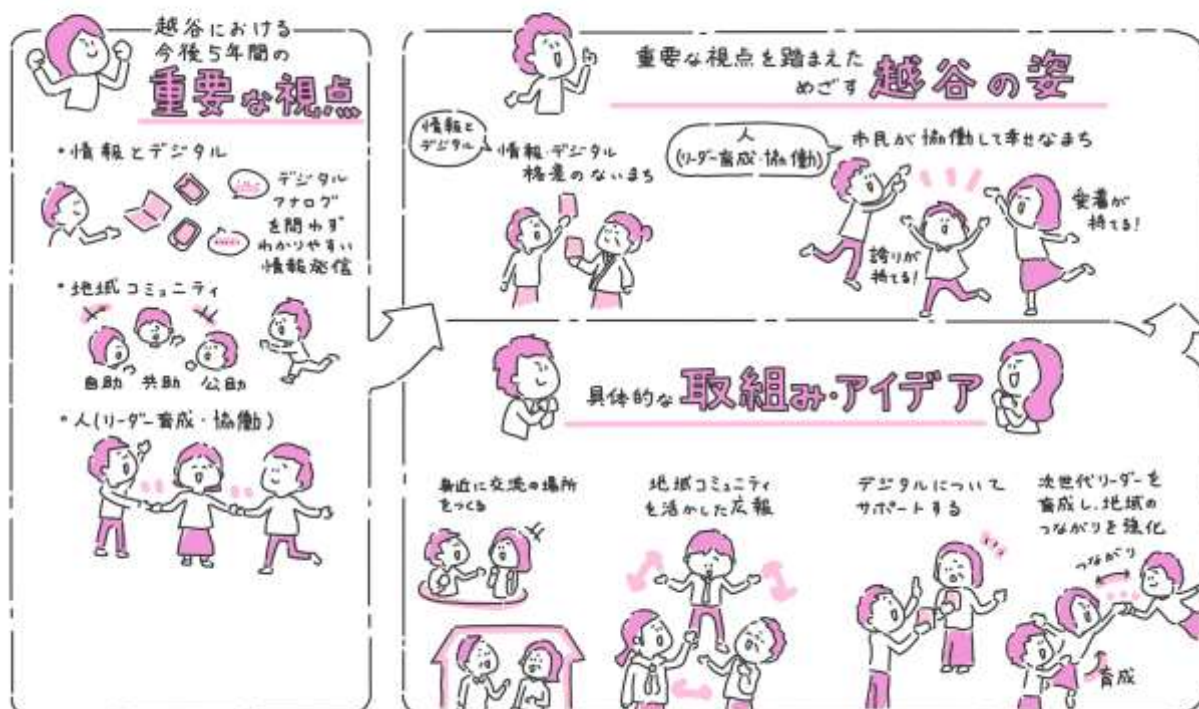
- 多世代交流の促進
 - ・身近に世代をまたいだ交流の場所をつくる
(地域の空き家や空き地の活用、農業体験の場の確保 など)
- 市民参加型の情報共有・情報発信
 - ・地域コミュニティを生きた広報の場とし、市民の関心を高める
 - ・世代を超えて情報やデジタル弱者をサポートする
- 地域リーダーの養成講座の開催
 - ・次世代リーダーを育成し、地域のつながりを強化する

4 まとめ

グループ1

越谷市のめざす姿を考えよう

2024年10月5日
第4回市民懇談会を開催しました



グループ②

1 今後5年間のまちづくりにおける「重要な視点」

< ディスカッションで出た視点と主な意見 >

人の幸福度

- ・人づくりが進むことで、人の幸福度が高くなり、誰一人取り残さないまちづくりにつながるのではないかと

人づくり

- ・優秀な人材を育てる必要があるが、育てる環境が今の市にはない
- ・まちづくりのリーダーとなるような人材の育成、発掘を行う必要がある
- ・ESDG'sによる人材教育を行う

公共交通

- ・利便性を向上させるために、新しい交通網を検討する必要がある
- ・交通に関する市民のニーズを把握するべき
- ・バス路線が廃止となり、不便になった

自然環境

- ・自然環境を守るため、積極的に活動すべき
- ・Nature Positiveの考えのもと、生物多様性を尊重していくべき

互いに認め合える環境

- ・みんながみんなを認め合うまちであることが、よいまちの条件だと思う

< 今後5年間のまちづくりにおける「重要な視点」 >

公共交通

人づくり

自然環境



2 5年後にめざす越谷の姿

人づくり

地域で育て合うまち・語り合えるまち

- ▶ 市民が語り合う場があり、お互いの違いを認め合える

自然環境

自然を生かした美しいまち

- ▶ 自然を生かしたまちとして積極的にアピールする

公共交通

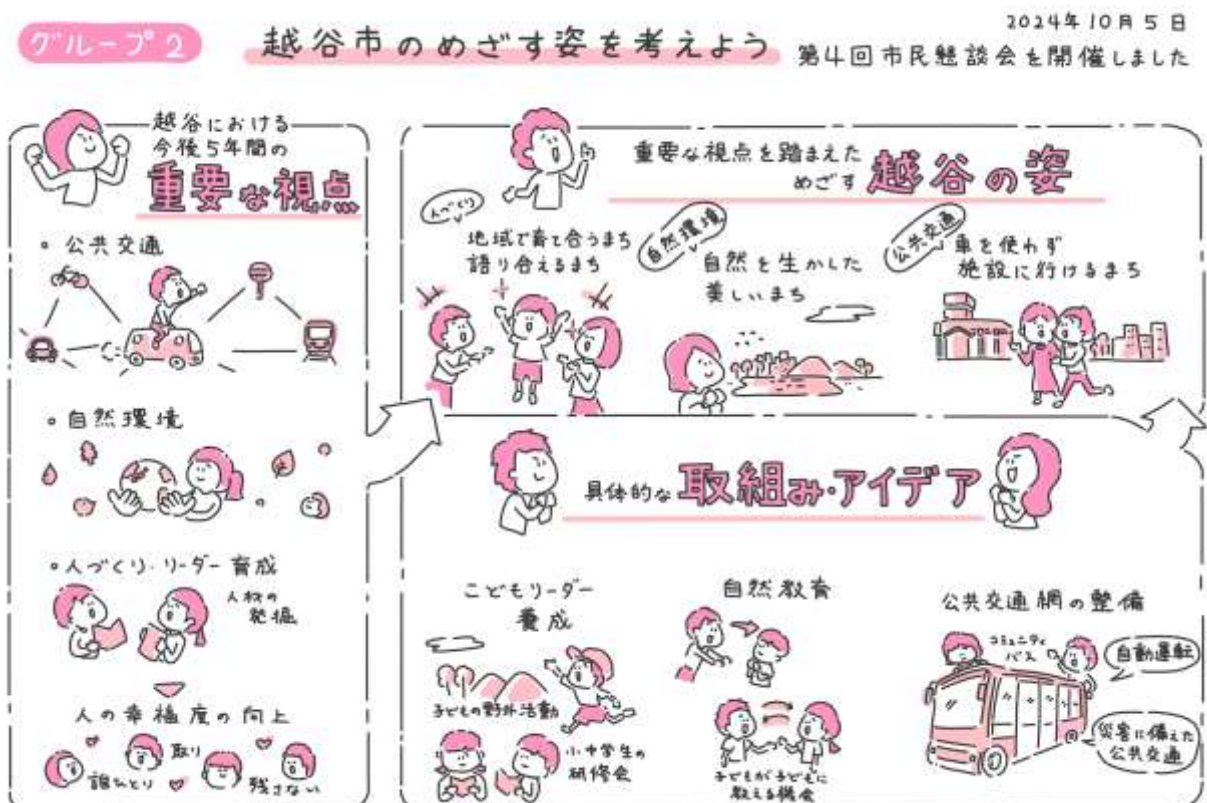
車を使わず施設に行けるまち

- ▶ 各地区の拠点をつなぐ交通網が整備されている
- ▶ 必要な人が必要な交通を利用できる

3 具体的な取組み・アイデア

- こどもリーダー養成研修会（小中学生向け）の開催
- こどもの野外活動の場の創出と支援者や団体の育成
- 自然教室の開催など、子どもどうして教え合う機会の創出
- 積極的に植樹を行うなど、自然の保全を推進
- 災害に備えた公共交通網の整備
- 13地区をつなぐ自動運転のコミュニティバスの整備

4 まとめ



グループ③

1 今後5年間のまちづくりにおける「重要な視点」

< ディスカッションで出た視点と主な意見 >

都市機能

- ・水害をはじめとした災害対策は今後も重要
- ・豊かな自然がもたらす景観の美しさは魅力
- ・景観保全と水害等の災害対策を両立させるため、水辺をもっと有効活用すべき

財政強化

- ・何をするにも財源が必要
- ・ふるさと納税の返礼品は、他市と比較すると改善の余地がある

生活圏の利便性

- ・市域が広いので、地域によっては市役所が遠いなど、不便に感じることがある
- ・道路や歩道が狭いため、徒歩での移動が安全でない

経済発展

- ・スポーツによる経済効果が期待できるため、例えば、アルファーズを市のシンボルとすることで発展できるのではないか
- ・レイクタウンをさらに発展させるとともに、レイクタウン以外にも市の中核となりうるエリアをつくるべき

学び続けられる環境（教育）

- ・文化継承のための世代間交流に加え、同世代ともつながれるコミュニティが必要
- ・子どもから高齢者まで、多世代がつながれる場があるとよい
- ・市内の大学を有効活用できるとよい

< 今後5年間のまちづくりにおける「重要な視点」 >

経済発展(財政強化)

住みやすさ

学び続けられる環境



2 5年後にめざす越谷の姿

住みやすさ

誰でも移動できるまち

- ▶ 誰でも安全に歩ける、歩きやすいまち

学び続けられる環境

人とのつながりがあるまち

- ▶ 人が集まれる場所があると、そこでつながりがもてる
- ▶ 転入者が多いので、抱えている悩みなどを同世代と共感できる場がある

3 具体的な取組み・アイデア

- レンタサイクルの配備×自転車専用道路の整備
- 自動運転技術などを活用した公共交通網の再整備
- 多世代が集まり、つながりをもてるような大規模な公園の整備
- 新しい祭りやイベントの開催
- 柔軟な出店の許可等により、今まで以上に集まれる公園へ

4 まとめ



グループ④

1 今後5年間のまちづくりにおける「重要な視点」

< ディスカッションで出た視点と主な意見 >

多文化共生

- ・市内で増加している外国人に働き手を担ってほしい
- ・日本と外国の文化を協調、共生させ、相互に理解を深めていきたい

健康寿命

- ・市立病院など、医療体制をより充実させてほしい
- ・市民の健康寿命を伸ばす取り組みが必要

インフラ整備

- ・市の大きさと比較し、交通事情が悪いように感じる
- ・インフラ整備のための予算が必要

犯罪対策

- ・埼玉県内で犯罪の発生件数が多いほうだと感じる
- ・外国人による犯罪も増えているように思う
- ・詐欺事件の被害が多いので、高齢者が1人でも安心して暮らせるようにしてほしい

災害対策

- ・水郷こしがやと言われているとおり、市内には河川が多いが、水害のリスクが高いということでもある

< 今後5年間のまちづくりにおける「重要な視点」 >

多文化共生

安全・安心

健康寿命



2 5年後にめざす越谷の姿

多文化共生

多文化が共生するまち

- ▶ お互いの文化をそれぞれが理解して暮らせる状態

安全・安心

安心なまち

- ▶ 犯罪が少ない状態
- ▶ まちが災害に強い状態

健康寿命

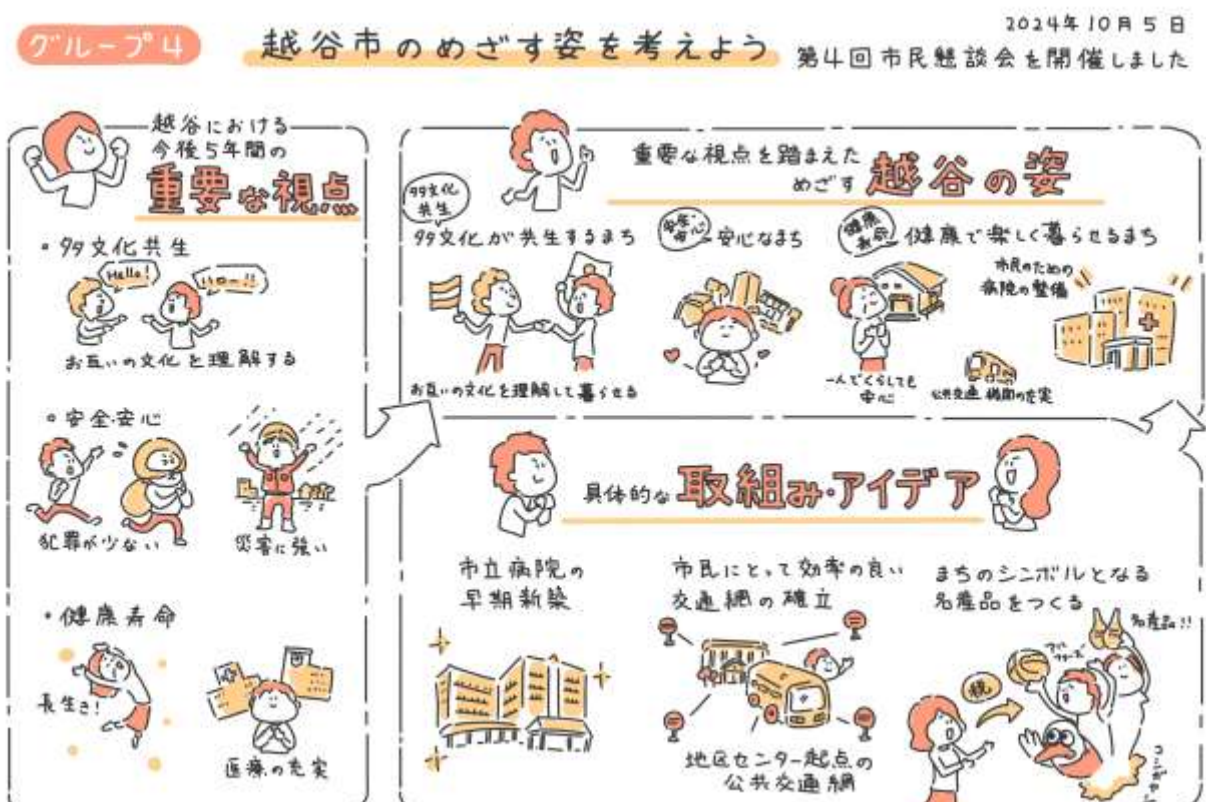
健康で楽しく暮らせるまち

- ▶ 公共交通を充実させることで、市立病院や地区センターなどへのアクセスがよい状態

3 具体的な取り組み・アイデア

- 市立病院の早期新築
- 効率の良い交通網の確立（地区センター起点、バスの小型化 等）
- まちのシンボルとなる名産品をつくる（ふるさと納税活用）
- サンシティのあるべき姿の検討・議論を通じた課題解決

4 まとめ



グループ⑤

1 今後5年間のまちづくりにおける「重要な視点」

< ディスカッションで出た視点と主な意見 >

治水

- ・内水氾濫による住宅浸水や交通麻痺の対策を講じる必要がある
- ・洪水や内水氾濫の対策として、調整機能のある緑地や公園を増やす
- ・ヒートアイランド現象の対策で緑化を促進

交通

- ・バス路線の廃止や減便が進む中で、交通弱者を減らすための対策を講じていく必要がある

循環型社会

- ・ゼロウェイストや3Rを推進し、持続可能な形で循環させながら資源を利用していく
- ・高いリサイクル率を目標とする

福祉

- ・少子高齢化が進む中で、高齢者が高齢者を支援できるような体制を構築する必要がある

地域のつながり

- ・地域のつながりの希薄化に対応するために、地域のコミュニティを再生する必要がある
- ・市内の商店街をまとめる組織を作るなど、複数の商店街が連携して活動することが必要ではないか

< 今後5年間のまちづくりにおける「重要な視点」 >

環境

地域連携



2 5年後にめざす越谷の姿

環境

自慢できる水都越谷

- ▶ 洪水対策や内水氾濫対策が進んでいる
- ▶ 緑地や公園が増えている

地域連携

地域で支えあうまち

- ▶ 市民と行政が同じ方向を見て連携している
- ▶ 自治会活動が活発で、地域が活性化している
- ▶ 近所で支え合える

3 具体的な取組み・アイデア

- 空き家や空き地を活用して緑化を推進する
- 未利用地を活用し、治水機能がある緑地公園をつくる
- 地域でカモノギ鍋会を開催し、市は補助金を交付する
- 地域で花や作物を育てる取り組みを行う
- 地域コミュニティ強化のモデルケースをつくり、他の地域に事例を共有する

4 まとめ

グループ5

越谷市のめざす姿を考えよう

2024年10月5日
第4回市民懇談会を開催しました

参加者アンケート

懇談会に参加して感じたことなどを、自由に記入していただきました。

今回の懇談会では、積極的な意見交換が行われ、多くの方にご満足いただけた様子でした。

また、複数回ご参加いただいた方々からは、「越谷は人財が豊かだと思った」などの感想もいただきました。

一方で、一部の参加者からは「大きな話題すぎてイメージが難しかった」、「時間が足りなかった」などのご意見がありました。

積極的な対話ができる雰囲気で満足！

- 充分話し合えました。グループでもいろいろな意見が出て楽しかった
- 多様な市民の方と意見交換が活発にできた
- 個人それぞれの観点を深掘りした議論ができた

越谷への愛着の深まりと未来の発展への関心

- 4回のグループでの話し合いを通して、越谷は市民人財が豊かだと思った
- めざす姿の創出に関われるなら、関わりを持ち続けたい
- アルファーズは大事だと思います。他にも今ある資源を大事に使いましょう
- 越谷が大好きです
- 人が幸せになるまちづくりが一番大切

参加者どうしの多様な意見交換と学びにつながり有意義だった

- 皆さんがとてもよい考えを持っていることがわかった
- 自分の考えも聞いてもらえたり、他の人のいろいろな考えも聞けて、視野が広がった
- 各チームの発表を聞いてすごく役に立った
- 市民間でのディスカッションは充実していた

その他（懇談会等に関するご要望）

- 若年層を含む全世代の議論の場を継続して設けてほしい
- 各グループの発表はよいが、質問もできるようにしてもらえば、もっと良かった
- 市民どうしや、市民と市の職員との交流・意見交換の場を増やしてほしい
- もう少し自由に話せる時間がほしかった



発行：越谷市 総合政策部 政策課

TEL :048-963-9112

FAX :048-965-6433

E-mail:seisaku@city.koshigaya.lg.jp